



第号

令和4年6月28日

聚落総会

旧さんぽえむを会場に4月3日、48名の参加者で梅内 聚落総会を開催しました。

多くの方から発言があり、活発な議論を経て原案を可 決していただきました。



総務省の補助事業がスタート

補助事業の内定通知があり、7月から各種の事業がスタートします。

さんぽえむのトイレ改修や備品購入、各種のイベント、研修事業などが予定されています。 各種イベントの際はその都度お知らせしていきたいと思いますので、多数ご参加くださるようお願いいたします。研修事業も、昨年度実施したコミュニティ生活圏形成支援事業の委員の皆様を中心

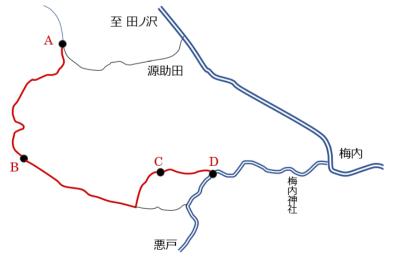
※さんぽえむ改修後には「愛称」を募集する予定ですので、皆さま考えておいてください。

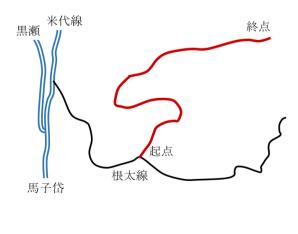
林道の開設

田ノ沢悪戸線の開設工事が順調に進んでいます。 残るはB~Cの区間で、今年度完成予定です。 開通後は間伐などの施業が可能になります。

に参加を呼び掛けていきたいと思っています。

根太北線の開設工事が開始しています。 今年度は測量などを行い、工事は来年からの3ヶ年事業になります。





梅内では毎年のように林道の開設工事が行われていますが、これは特別なことで、このような地域は他にはありません。県は住民の協力(用地の無償提供など)が得られるから工事がしやすく、 聚落側としては林道開設により山の価値があがります。県と梅内がウインウインのいい関係にあるのです。

東北大学大学院生の高橋知花さんが6月13日~7月10日まで梅内を訪問しています 2020年から聚落内の様々な人にインタビューするなどして「梅内」を研究してきた高橋さんですが、 今回は聚落内の日常を経験するために長期にわたって滞在し、地域の様々な行事などに参加していま す。梅内の皆さん、さとかさんを見かけたらどうぞ気軽に声をかけてあげてください。

Q 梅内の何を研究しているのですか

A かつては活発に利用されていた山の資源が、現在では利用されなくなり全国的な問題になって います。梅内聚落では活発な山の利用に取り組んでいることに関心を持ちました。誰がどんな風に 山に関わっているのかを皆さんへの聞き取りや活動への参加から勉強させていただいています。

Q なぜ梅内を選んだのですか

A 2018年に行われたイベントで梅内聚落を訪れたことがきっかけで聚落の取り組みを知りました。 全国的にみても、「集落/地域として」土地や資源の課題に対処しているケースは少ないです。私 は県南の大曲出身ですが秋田県という同郷でそのような取り組みをしていることに好奇心と親しみ を感じ、梅内聚落を研究してみたいと思いました。

Q 研究したものはどういう形になるのですか

A これまで宝の森林プロジェクトに関する学術論文を1本書きま した。今研究していることは、大学院を卒業するための「博士論 文」としてまとめていきます。博士論文は来年の1月に大学に提出 します。大学院を卒業後は他の地域も研究して色々な考察を加え つつ、ゆくゆくは博士論文を1冊の本にする予定です。

Q 梅内の印象はどうですか

A 今のところ梅内本郷にお邪魔する機会が多いのですが、梅内本郷は家々の距離が近く世帯数も 多いので日頃からお互いに交流が多い印象があります。あと、みなさんとてもユーモアに溢れてい て、その場をワッとひと笑いさせるような話術をお持ちだなと感じます。

ひもりりゅうた







お疲れ様です。協力隊の檜森です。梅内に来て初めての春夏ですが、思っていた以上に色々な生き 物が溢れていて驚いています。大学で生態学を勉強してきた自分としては、どれも珍しい生き物ばか りです!そこで今回皆さんにお願いなのですが、次のどれかを見たことがある、知っているという人 はぜひ教えていただきたいです。

①ホタル、②カジカガエル(夕方から夜にかけて高い声で「フィー、フィー」と 鳴く)、③モリアオガエル(水の上に伸びた木の枝に泡状の卵を産む)→写真 教えてもらえる場合は090-2279-4433まで電話いただくか、何かでお会いした 時に直接お話しいただければ!よろしくお願いします!

モミジ山の下刈り、参加者募集!

参加くださる方はお近くの協議員へご連絡ください

旧馬子岱小学校運動場の隣りに、毎年1反歩づつモミジを植樹して9年が経過。 今はまだまだ小さい木ですが、、将来は素晴らしいモミジ山になることと思います。 草に負けないようになるまでもう少しの間下刈りが必要で、昨年から宝の森林プロジェクトがここを 下刈りしています。今年も下記により実施しますので、都合がつく方はぜひご参加してください! 7月3日(日)、朝5:30~7:00、馬子岱の土場集合、混合油あり、参加者には宝券2枚進呈